

科 目		施工管理学 (Construction Management)	
担当教員		小林 育夫 非常勤講師	
対象学年等		都市工学科・5年・後期・必修・1単位 (学修単位I)	
学習・教育目標		A4-S3(100%)	JABEE基準1(1) (d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針		土木工事を施工する際に土木技術者として必要な、工事管理の基礎知識および施工法の概要と要点について講義する。請負契約、施工計画、仮設工事、土留め工事、コンクリート工事、鉄骨工事、基礎工事、トンネル工事等の基礎知識について解説する。学校で勉強していることが、実際にどのように活用されているかを学ぶ。	
		到達目標	達成度
		到達目標毎の評価方法と基準	
1	【A4-S3】請負契約の分類とそれぞれの契約の特徴を理解する。		請負契約の内容と特徴が理解でき説明できるかを、中間試験とレポートで評価する。
2	【A4-S3】工事計画の概要と実工事に際しての管理手法について理解する。		工事計画と実際の管理手法を理解し説明できるかを、中間試験とレポートで評価する。
3	【A4-S3】仮設工事のそれぞれの特徴を理解し、また仮設計画が説明できる。		仮設工事の特徴を理解し、仮設計画を説明できるかを、中間試験とレポートで評価する。
4	【A4-S3】個々の地盤調査法の概要を理解し、それぞれの工事目的に見合った適用ができる。		地盤調査法の特徴を理解し、得られたデータを実際に適用できるかを中間試験とレポートで評価する。
5	【A4-S3】山留め工事のそれぞれの工法を理解し、工事目的に見合った工法を適用できる。		それぞれの山留め工法の特徴を理解し、実工事の計画に適用できるかを中間試験とレポートで評価する。
6	【A4-S3】鉄筋・型枠・コンクリート工事の流れを理解し、適切なコンクリート工事が計画できる。		コンクリート工事の全体の流れを理解し、コンクリートの不具合の原因を説明できるかを、定期試験で評価する。
7	【A4-S3】個々の鋼材の特徴を理解し、工事目的に合った適用ができる。		鋼材の種類が分類でき、工事に使う鋼材の説明ができるかを定期試験とレポートで評価する。
8	【A4-S3】地盤改良工事の種類を理解し、工事目的に合った適用ができる。		土木工事に活用される地盤改良の全体を理解し、工種に合う工法を選定できるかを定期試験とレポートで評価する。
9	【A4-S3】それぞれの基礎工法の特徴を理解し、適切な基礎工法の選定ができる。		土木構造物の基礎工法の概要を理解し、その施工法を説明できるかを定期試験とレポートで評価する。
10	【A4-S3】各トンネル工法の特徴を理解し、適切な施工計画ができる。		各トンネル工法の特徴を理解し、目的に合ったトンネル工法を選定できるかを定期試験とレポートで評価する。
総合評価		成績は、試験80% レポート20% として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均とする。合格点は100点満点で60点以上とする。	
テキスト		講師作成のプリントを配付する。	
参考書		「土木施工法」朝倉出版 「建築施工テキスト」井上書院	
関連科目		構造力学，材料工学，土質力学	
履修上の注意事項			

